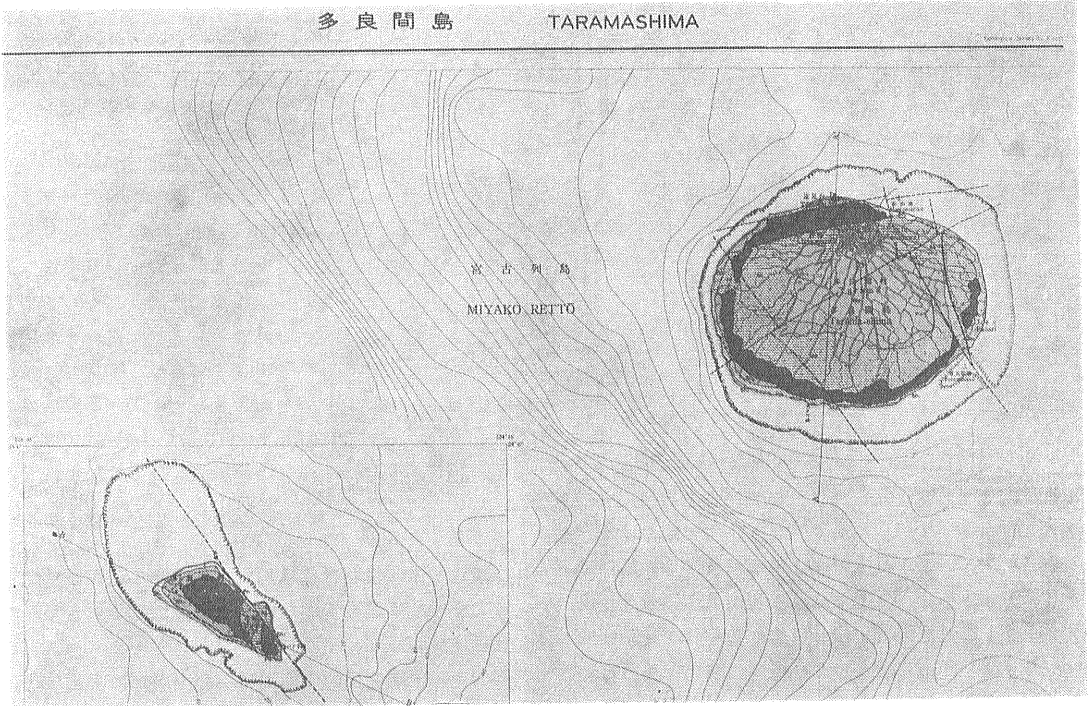


多良間島

TARAMASHIMA



5万分の1地質図幅の新刊

多良間島

TARAMASHIMA

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著者 矢崎清貫 (燃料部)
 発行 工業技術院地質調査所
 取扱先 地学文献センター (0423) 62-5050

●この図幅地域は九州と台湾を結ぶ紺碧の南海 1,200 km の間を白いサンゴ礁に縁どられ点々とつらなる琉球列島弧 (南西諸島) の南西琉球に位置する多良間島と水納島の2つの小島から構成されている。この2つの島は沖縄方言でいう“シマ・チャビ” (離島苦) で代表する島であることからふるくは琉球王庁時代の配所として有名である。こんなことから余り多くの外来者の訪島者もなくかつ平坦な石灰岩の島ということもあつて地質学的意味での好求野外でなかったのか現在まで地質学的な文献は発表されていない。したがってこの地域の地質に関する文献

としての最初のものである。

●ところで地質であるがこの地域はいわゆる礁石灰岩で代表される琉球層群 (琉球石灰岩) である更新世の石灰岩によって被われさらに現世の石灰岩および陸成の石灰岩 (古砂丘堆積物) や風化土壌によって構成されている。石灰岩のうち天川石灰岩はいわゆる琉球石灰岩と呼ばれていた石灰岩に相当しそれより上位の各石灰岩は南西諸島が“うるま変動”にともない島嶼化された以後に形成されたものであつて層厚も薄く形成年代も新しい。この地域の上部にみられる遠見台石灰岩および仲筋泥質砂は陸成層であつて一部の層準にはシユリマイマイが化石として確認されている。この2つの小島には百合若物語の伝説があたり原子日本人の一面をうかがわれる風俗・習慣が現在に引きつがれている (詳細については本誌 259号「大津波でできた多良間島」を参照されさい)

地質ニュース	第281号	1月号
	定価 ¥ 420	〒 50
昭和53年1月1日	発行	
編集	工業技術院	地質調査所
発行人	林久	雄
発行所	株式会社	実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座	東京 32466
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	